

山口県 高校入試情報

令和7年度山口県入試の全体傾向

●入試問題の構成と特色

- 大問数は8問、小問数は22問で、昨年と同じ。
- 大問1は計算、大問2は小問集合、大問3は反比例、大問4は標本調査と確率、大問5は2次方程式と規則性、大問6は平面図形(作図、証明を含む)、大問7は関数と図形の融合問題、大問8は相似と三平方の定理。
- 作図、確率の求め方、図形の証明といった記述問題は例年よりは少なかったが、出題された。
- 身のまわりの問題で、筋道を立てて正しく説明する力や、問題文や複数のデータから情報を正しく読みとる力が求められる。

★山口県の入試は、『数学の新研究』でバッチリ！

■ 作図問題の出題

・作図の問題が例年出題されており、円周角の定理を組み合わせたり、いろいろなパターンの問題があるので、対策が必要である。

新研究で対策！

- 「ウォームアップ特集 作図」(p. 32～33)、「基本を使おう！いろいろな作図」(p. 170～171)で、基本となる作図から、よく問われる定番問題まで、作図のポイントを分かりやすく解説しています。

■ 実生活への活用力をみる問題の出題

・身近な題材について、方程式・関数・図形などの知識を使って考える問題がよく出題されているので、数学的に考える力を養っておく必要がある。

新研究で対策！

- 「思考力・判断力・表現力を問う活用問題」(p. 188～191)で、表やグラフなどを読みとり、数学で学習したことを実生活に活用して考える問題を集めています。

時間をかけて考える問題も出題されるので、基本問題から先に解いていくことも大切です。



★山口県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

出題内容別の傾向	単元名／項目		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	1年内容		●	●	●	●
出題内容別の傾向	1年内容	正の数・負の数	●	●	●	●
		文字と式	●	●	●	●
		方程式				●
		比例と反比例			●	●
		平面図形	●	●	●	●
		空間図形	●			●
		データの分析と活用	●	●	●	
	2年内容	式の計算	●	●	●	●
		連立方程式	●	●	●	
		1次関数	●	●	●	●
		図形の調べ方		●	●	
		三角形	●			●
		平行四辺形	●			
		確率	●	●	●	●
		データの比較と箱ひげ図	●	●		●
	3年内容	式の計算	●	●		●
		平方根	●	●	●	●
		2次方程式		●	●	●
		関数 $y=ax^2$	●	●	●	●
		相似な図形	●	●	●	●
		円の性質		●	●	●
		三平方の定理	●	●	●	●
出題形式別の傾向	大問数		9	9	8	8
		小問数	24	23	22	22
	記述問題	図形の証明(説明)	1	1	1	1
		その他の説明・証明など	1	2	1	
		立式・解法の過程の記述	3	1	1	1
		作図(図形)	1	1	1	1
		作図(グラフ)				

★新研究で出題した山口県の入試問題(令和7年度)

p.57大問3(1),p.141大問3,p.183大問1